

科学と社会委員会 市民と科学の対話分科会（第四回）  
議事録

1. 日時 : 平成30年7月19日(水) 9:00~11:00
2. 場所 : 日本学術会議5-B会議室
3. 出席者: 遠藤委員長、江守幹事、所委員、中村委員(スカイプ)  
(欠席: 平井副委員長、高橋委員)  
参考人: 池辺氏(日本科学未来館)、石橋課長補佐(文部科学省)  
(事務局): 糸川参事官他

(1) 前回議事録確認

- 前回議事録の確認を行った。特段の意見は無し。

(2) 科学コミュニケーションに関するゲストのスピーチと質疑

- 日本科学未来館の池辺靖・科学コミュニケーション専門主任より、科学コミュニケーションで「何を、どのように、伝えるか？」についてお話を伺い、質疑応答をおこなった。以下のようなポイントがあった。
  - 何を伝えるか?→社会の抱える問題、科学技術の光と影、新しい世界観。
  - どのように伝えるか?→相手の文脈に寄り添いながら、相手の構成主義的な学びを引き出す。
  - サイエнтиスト・クエストにおける「問い」の役割→人々が自分(科学者)とつながる、話を聞こうと思う、研究の本質と深く関わる。
  - 研究者も変わる→本当に一般目線での自分の研究の評価、自分を振り返る機会。
  - ファシリテーターの役割→専門家の言葉遣いを翻訳、来場者の文脈に添わせる。  
(事前準備の段階が重要)

(3) 今後のサイエンスカフェの進め方について

- 今年度は、8月:所委員、10月:江守幹事、12月:遠藤委員長、2月:中村委員の各担当で東京開催サイエンスカフェを企画する。
  - サイエンスカフェのチラシを未来館に置いていただくことが可能。
- 上記の通常開催以外に、高校生向けの企画を開催する可能性について審議した。
  - 企画を整えたうえで、文科省や未来館にご相談するかもしれない。
  - 本件は継続審議とする。

(4) 地方開催サイエンスカフェについて

- 今年度は9月までで18回の地方開催サイエンスカフェが登録されている状況を確認

認した。

(5) その他

- サイエンスアゴラの出展企画「超スマート社会とSDGs」について、企画案の仕上げの相談を行った。
- 今年度の東京開催サイエンスカフェは、国立環境研究所の社会対話・協働推進オフィスが共催することになった。来年度以降については改めて検討する。
- 次回分科会の開催は、メールにて日程調整する。

以上